

# 働き方 多角的に考察

越前市武生三中で公開授業

記事を参考、意見交わす



課題について活発に意見を交わす生徒たち  
＝16日、越前市武生三中

NIE(教育に新聞を)実践指定校の越前市武生三中で16日、道徳の公開授業が行われた。課題では、大学生が長時間勤務のアルバイトを続けるべきかどうかについて考察。他の生徒との議論や新聞記事を参考に、さまざまな観点からのもの見方や働くこと

の意義について考えを深めた。1年3組の授業を公開した。男子大学生は、週5日の塾講師のアルバイトについて、やりがいと負担の双方を感じている。本人に加え、教え子や塾経営者らの立場も考えた上で答えを出すという課題で、生徒27人は教員が作った資料を事前に読み込んだ上で臨んだ。最初に生徒が自分の考えを用紙に書いた上で、級友と意見を交換。「自分の体調を優先すべきだ」「教え子の受験生は最後まで教えてほしいはず」「(負担を解消できない)塾が悪い」などさまざまな声があった。

教職員の長時間労働解消に向け、大野市の小中学校で週1日、目標の通勤時間を設定するといった取り組みを伝える新聞記事も紹介。授業の最後には自分の考えが

どう深まったかを振り返り「楽しくなる」「自分のこと考えた。生徒たちは「協力」とを(しっかり)考えながらやれば仕事はいとだめだと思った」など、自分の考えを(大谷純平)